

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	28年度決 算額[千 円]	29年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成30年度に取組む改革・改善内容	30年度予 算額[千 円]
1	一般	8	4	1	322利便性の高い公共交通体系の充実	公共交通機関の整備促進に要する経費	都市計画課			①成田空港機能の充実を図り、東京都心と成田空港とのアクセスを改善し空港利用者の利便を確保するとともに千葉県北西部等の交通利便性を向上させるため補助等を行うもの。 ②成田高速鉄道アクセス線整備事業において生じた課題に対する事務処理(補助金返還・納付)を適正に実施する必要がある。	0	454	1終了	①交付要領等に基づき適正に処理し完了したため。 ②なし	0
2	一般	8	4	1	322利便性の高い公共交通体系の充実	コミュニティバス運行助成事業	都市計画課	○	○	①市内の交通不便地区における課題解消や公共施設等の使用促進を図るため、運行事業者への一部補助などにより公共交通網の充実を図るもの。 ②新ルートの運行から1年以上が経過し、運行ルート、バス停留所等の改善要望及びバスの老朽化対応など、運行事業者との連携や行政の役割について検討の必要性がある。	32,429	48,056	6精査・検証	①高齢化社会の対応として、地域活動や生涯学習などの参加からコミュニティバスの運行は必要不可欠であるため。 ②平成29年11月に実施した利用実態調査にて把握した意見、要望を参考にコミュニティバス利用者の利便性について運行事業者と検討を行う。	47,140
3	一般	8	4	1	322利便性の高い公共交通体系の充実	北総鉄道耐震化助成事業	都市計画課	○	○	①首都圏直下型地震等の大規模地震に備えるとともに、北総鉄道を利用する市民及び鉄道施設付近に居住する市民等の安全を確保するため、国、県、沿線6市と協調し事業費を助成するもの。 ②平成27年度から平成29年度の3年で完成させる。	23,224	27,465	1終了	①首都圏直下型地震は、30年以内に70%程度の確率で起こると想定されており、対策を進めておく必要があった事業が完了したため。 ②なし	0
4	一般	8	4	3	322利便性の高い公共交通体系の充実	新京成線連続立体交差事業	道路河川整備課	○	○	①本市の東西を走る新京成線を高架化し、踏切遮断による交通渋滞や市街地の分断等を解消する目的で、県が事業主体となり事業を実施する。 ②踏切による交通渋滞が多く、市街地が分断されている。	1,006,056	513,558	7拡充	①市内道路の渋滞解消に向け、早期完成が必要であるため。 ②全線高架化に向け、関係機関との調整を密にしながら事業を進める。	710,859